

## 第1回 東京ビジネス・リーダーズ・フォーラム 会議要旨

1 日 時：平成21年7月16日(木)午後3時から午後4時40分

2 場 所：都市センターホテル(東京都千代田区平河町2-4-1)

3 目 的：

東京に進出している外資系企業のトップや商工会議所代表等に対して、大阪のビジネスポテンシャルや都市再開発の現状について説明し、大阪への企業進出や投資促進へのニーズ及び要望、都市プロモーションについて意見交換を行った。

今回は、金融危機を受けた世界的な景気後退の中で大阪経済はどのように変わっていくのかについて、大阪の経済に関する最新の統計資料と分析をまとめた「大阪の経済」を発行している大阪市都市型産業振興センターの徳田経済調査室長より講演いただくとともに、その後、参加者と意見交換を行った。

4 テーマ：大阪への企業進出支援及び投資促進及び大阪のイメージアッププロモーションについて

5 出席者：東京に進出している外資系の銀行や証券会社など5社のトップ等  
大阪市長、大阪市政策企画室海外プロモーション担当部長他

6 開催結果

(1) 開会 (大阪市政策企画室 海外プロモーション担当部長 河村浩一)

(2) 挨拶及びプレゼンテーション

元気な大阪をめざす政策推進ビジョンと水都大阪2009について  
(大阪市長 平松邦夫)

(3) プレゼンテーション

知られざる大阪経済のポテンシャルと今後の展望  
( (財)大阪市都市型産業振興センター 経済調査室長 徳田 裕平 )

(4) 質疑応答及び意見交換

ゲストの主な意見等

- ・ 観光に期待しているので、水都大阪2009には期待している。また、大阪は食としての認知度があるので、その面でいいイメージ作りをしてもらいたい。
- ・ 豚インフルエンザの影響を教えてください。
- ・ 投資に注目する点は、お客様がたくさんいる地域。そこにしかないものと

パートナーシップをとれる所。 その地域のお客様に直接投資する場合である。 としてはUSJであり最終消費地、 であれば三洋電機（そこにしかない技術）などがあげられる。

- ・ 「つながる」をキーワードに考えたとき、周辺都市とのつながりに加え、アジアとのつながりが重要である。関空から市内へのアクセスは工夫できると思う。
- ・ 咲洲はコンテナ等の物流は活気があってよいと思うが、住宅や学校もできて混在してきており、移動のための動線が輻輳している。住むには便利かもしれないが輸出入が増えてきたときにバックヤードがなくなるのではないか。
- ・ 大阪市の中でまちの役割分担が必要である。例えば中之島は文化が考えられる。
- ・ 昼間人口が多い、GDPが多いことを考えると、大阪市に住んでいる住民のためという枠を越えて、近畿圏民のための大阪市という役割を担うべきである。
- ・ 内需だけでは成長できないので、如何にアジアを取り込むかが大事である。その面で、ビジターが使いやすいまちにしていく必要がある。新幹線が大阪駅に入ってきていないので、リニア新幹線を大阪駅に入れられないか。
- ・ 産業面では、自動車の時代は終わった。今後は電機の時代であり、この面では東京よりも大阪の方が優っているので、そのような分野の企業を行政はどう支援していけるのかが重要。
- ・ 大阪はバイタリティがあるが、今後高齢化社会になり、足を引っ張る。よってバリアフリー的なインフラを整備することが重要。また、女性の力をどう生かすかが大事。これは日本全体の問題ではあるが、大阪・関西が、まずはじめに解決していくバイタリティがほしい。
- ・ アジア（中国や韓国）からのビジターも大切にすることが必要がある。そのためには中国語や韓国語を使えるようなまちにする必要がある。
- ・ 川をうまく使うべきである。カフェやレストランなど川沿いでリラックスできるインフラが必要である。ただし、水都大阪の取り組みはよい。
- ・ これからは環境がキーワードである。大阪市と関西電力だけでも公用車はすべて電気自動車を使うようにし、国からの補助金をとれるよう工夫してはどうか。
- ・ 地方分権の姿が見えない。分権がすすめばここがこう変わるというのを示してほしい。

#### 大阪市の主な応答

- ・ 豚インフルエンザについては、現在はマスク姿の方はいないが、大阪府南部において依然流行っており、季節性インフルエンザよりはやや感染力の強いといえる。但し、タミフルやリレンザが効くので感染しても大丈夫である。大阪では5月に学校を1週間休校にした。宿泊については13億円の損失。京都では修学旅行がすべてキャンセルという事態になった。しかし、関西は今元気だということ、関西の政令都市とともに発信していきたい。

- ・ 大阪市は99%が中小企業であることから、大商とかかわりをもっていきたい。大阪検定など大阪の魅力を発掘していききたい。また、CO2排出権取引なども勉強していききたい。
- ・ 使いやすいまちという面では、関空へは中心部からのアクセスは改善しつつある。また案内サインがわかりにくい、案内所の位置がわかりにくいというご意見に対しては、例えば、難波駅におきまして、本市と南海電鉄で共同でインフォメーションセンターを設置してテレビ電話を使い、日本語以外の3ヶ国語対応で案内を行っている。
- ・ リニア新幹線の大阪駅への乗り入れについてはかなり先のことになる予想される。
- ・ 関西は、大阪、京都、神戸、奈良と個性ある4都市が近接しており、それぞれが性格が違う。これは珍しいことであり、国際都市のあり方など、今後具体的なプランを4都市で出していきたいと思う。
- ・ 分権が必要なことは重々承知している。関西・大阪から日本の新しいまちをつくっていき分権につなげる、それができるのは政令都市が近接している関西であると考えている。